



MESSAGE



女性研究リーダー育成推進センター
副センター長

中尾 賀要子

いつも本センターの活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本学が文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」に採択され、3年目を迎えた今年度は、「女子総合大学における挑戦的次世代女性リーダー育成プログラム」が本格展開しております。特に「武庫川女子大学 サイエンス・コモンズ」を拠点とした事業は着実に成果を上げており、各種セミナーや研修プログラムも活発に開催されています。また、7月下旬に実施しました外部評価委員会では、本プログラムのこれまでの歩みと今後の課題等について、外部の専門家から貴重な助言をいただき、さらなる発展への道筋を確認いたしました。

我が国の研究環境における女性研究者の地位向上は喫緊の課題です。本プログラムが、若手女性研究者の裾野拡大と上位職登用を実現する先駆的モデルとなり、ひいては性別に関わらず誰もが能力を発揮できる研究環境の構築に貢献できるよう、一丸となって推進してまいります。引き続き、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

第1回外部評価委員会

文部科学省の科学技術人材育成費補助事業に採択された本学の「女子総合大学における挑戦的次世代女性リーダー育成プログラム」は、全期間の中間年度にあたる今年、第1回外部評価委員会を開催しました。この委員会は、学外の有識者からプログラムの現時点の取り組みについて率直な評価をいただくことで、後半の目標再設定につながる課題を明確にすることを目的としています。当日は、多くの貴重なご意見をいただくことができました。



日 時 2025年7月24日(木)
10:30~16:30

場 所 本学中央キャンパス 本館8階 会議室
(対面・オンライン)

外部評価委員 **国内委員:** 村上 雅人 先生 (元 芝浦工業大学学長)
伊藤 公雄 先生 (京都大学・大阪大学 名誉教授)

国外委員: Kathleen Ann Jeffs 先生 (ゴンザガ大学 評価・認証プログラム担当副学長)
Leung On Yuk, Maggie 先生 (香港日本語教育研究会会長)

学内委員: 影山 尚之 先生 (武庫川女子大学 文学部 教授・同 附属図書館長)

女性研究者のためのキャリア・カウンセリング

2024年度から女性研究者のキャリアパスを支援するために、先輩研究者であるカウンセラーに仕事や進路について相談できる場を設けています。

担当カウンセラー

上田 和子 武庫川女子大学名誉教授/博士(文学)
*2024年度より女性研究リーダー育成推進センターのカウンセラーとして勤務

相談日: 火曜日・木曜日
相談時間: 1回45分を目安に
場 所: 中央キャンパス 研究所棟(I) 1階・Zoom
対 象 者: 本学の女性研究者・大学院生

各種研究支援制度の採択状況

2025年度より国際学会発表支援制度を新設しました。各種研究支援制度の詳細については、武庫川女子大学サイエンス・コモンズホームページに掲載しています。



◆女性研究リーダー研修

〈2025年度〉

氏名	所属・資格	研修先
小泉 京美	日本語日本文学科 講師	早稲田大学
松原 陽子	英語グローバル学科 准教授	京都女子大学
村越 直子	健康・スポーツ科学科 教授	Laban/Bartenieff Institute of Movement Studies (アメリカ)
吉田 都	薬学科 教授	The University of Auckland (ニュージーランド)

〈2026年度〉

氏名	所属・資格	研修先
設楽 馨	日本語日本文学科 准教授	北海道大学・岡山大学
吉川 紀子	薬学科 准教授	McGill University (カナダ)

◆架橋横断的重点共同研究・グローバル共同研究支援〈2025年度〉

種別	研究代表者	所属・資格	研究テーマ
架橋横断的重点共同研究	野畑 理佳	日本語日本文学科 准教授	日本語教師の内的キャリアの変容に関する研究 一言語ヒストリーに見られる母語をめぐる経験に着目して
	田中 真由美	英語グローバル学科 教授	英語学習者の思考とエンゲージメントを促すCLILタスクの開発
	中堀 千香子	健康・スポーツ科学科 准教授	女性アスリートにおける三主徴の早期発見と支援プログラムの実践的研究； 血液検査を活用した女性アスリートの健康管理と傷害予防の新たなアプローチ
	北村 真理	食創造科学科 教授	保育現場における園児の咀嚼機能向上を目指した食育プログラムの構築 (2)
	堀山 志朱代	薬学科 准教授	アルド・ケト還元酵素標的治療薬の質量分析を用いた新規評価方法の開発と分子認識構造誘導型創薬への応用
	吉田 都	薬学科 教授	ヒトに優しい!地球に優しい!抗菌ペプチド設計のためのプラットフォーム開発
架橋横断的重点共同研究・ グローバル共同研究	木下 りか	日本語日本文学科 教授	表現の選択に関する言語学的分析とレトリックとしての効果
	宇野 朋子	建築学科 准教授	屋外文化財に使用される凝灰岩の熱水分物性データベースの作成

◆大学院学生フェロースhip制度〈2025年度〉

氏名	所属
老家 初果	生活環境学研究科生活環境学専攻 博士後期課程1年
田中 弥生	食物栄養科学研究科食物栄養学専攻 博士後期課程1年
福田 史織	食物栄養科学研究科食物栄養学専攻 博士後期課程1年
イ ミンジ	薬学研究科薬科学専攻 博士後期課程1年

◆国際学会発表支援制度〈2025年度〉

氏名	所属・資格
小野 薫里	英語グローバル学科 講師
村越 直子	健康・スポーツ科学科 教授
籠田 智美	薬学科 教授
山口 舞子	看護学科 准教授

◆教育支援員制度〈2025年度〉

本学の上位職(准教授以上)の職位にある女性研究者に対して、研究時間の確保を目的とし、教育業務を支援する職員を配置する制度です。2025年度は前期9名、後期1名の申請があり、10名が利用しています。

英語論文執筆セミナー

2025年7月5日(土)、「英語論文執筆セミナー」が開催され、教職員、大学院生計18名が参加しました。

本セミナーでは、ビートップランゲージサービスのMichael Collins先生を講師にお迎えし、学術論文執筆に不可欠な語彙の効果的な使用方法、パラフレーズ(言い換え)の技術、他者の研究成果を適切に引用・要約する方法について、実践的に学びました。参加者からは、「今後の学習へのモチベーションが高まった」「修士論文執筆に向けて非常に参考になった」といった感想が寄せられました。

女性リーダーシップ研修

2025年8月4日(月)から4日間にわたり、本学の協定大学であるアメリカのEastern Washington University (EWU) から講師として、Director of Organizational Leadership ProgramのBrian Davenport 博士をお招きし、「女性リーダーシップ研修」を実施しました。この研修では、本学の13学部から選抜された現在管理職または次世代のリーダーとして期待される女性教員を対象として、以下の3点を中心にリーダーシップについて取り上げました。



- ①米国ギャラップ社によるオンライン自己診断ツール「クリフトンストレングス®」の結果をもとに、自分の強みを確認する。
- ②課題を多角的に捉える視点と複数の解釈を持つことで、誰もがリーダーになれる。
- ③個人的な行動改革とリーダーシップの発揮に繋がる「ヒート(緊張感)」を活用する。

15名の参加教員は、自身のリーダーシップについて深く考察し、具体的な行動計画を立てることができました。また、日ごろ、交流の少ない他学部の教員との積極的な意見交換や情報共有が実現し、実践的な4日間となりました。

■研修参加者

- | | | |
|----------------------|------------------|-------------------|
| ・英語グローバル学科 福本由紀子 准教授 | ・社会情報学科 大森いさみ 教授 | ・健康生命薬科学科 中瀬朋夏 教授 |
| ・教育学科 磯部美良 教授 | ・食創造科学科 今村友美 准教授 | ・環境共生学科 石庭寛子 准教授 |
| ・心理学科 三浦彩美 准教授 | ・建築学科 宇野朋子 准教授 | ・看護学科 本間裕子 教授 |
| ・社会福祉学科 半羽利美佳 教授 | ・応用音楽学科 一ノ瀬智子 教授 | ・経営学科 神栄美穂 准教授 |
| ・生活環境学科 北村薫子 教授 | ・薬学科 籠田智美 教授 | ・共通教育部 木村麻衣子 教授 |

サイエンス・コモンズ セミナー

昨年度に引き続き、本学の研究者が講師を務めるサイエンス・コモンズ セミナーを月に1回程度企画。学内外の方に、本学の研究に触れていただく機会の創出を目指しています。

■開催報告

- 【第1回】5月28日(水) 「こころのケガ(トラウマ)について考えてみようートラウマインフォームドな社会づくり」
社会福祉学科 大岡由佳 教授
- 【第2回】6月25日(水) 「エーゲ海・南西諸島の生存環境から見た島々の美しい暮らし方」
生活環境学科 鎌田誠史 教授
- 【第3回】7月30日(水) 「意思決定過程としてのキャリア:進路選択と就職選択とライフイベント」
社会情報学科 大野ゆう子 教授
- 【第4回】9月24日(水) 「親ガチャ時代にできることー公教育のいま」
教育総合研究所 志水宏吉 教授

■今後の予定

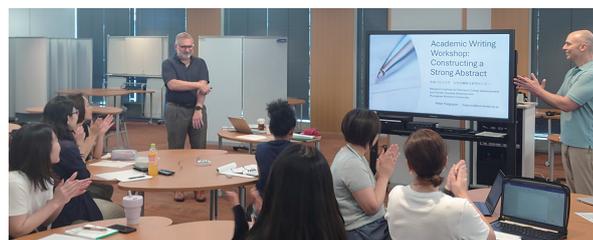
- 【第5回】10月29日(水) 「隣人と暮らす住まいのかたちーデンマークと日本の事例から」
建築学科 宮野順子 准教授
- 【第6回】11月26日(水) 「何歳まで倒立できる?生涯現役を貫くマスターズの世界」
スポーツマネジメント学科 五藤佳奈 准教授
- 【第7回】2026年1月28日(水)
- 【第8回】2026年2月24日(水)



国際学会発表準備セミナー

2025年7月19日(土)、「国際学会発表準備セミナー」が開催され、教職員、大学院生計14名が参加しました。

本セミナーでは、近畿大学のPeter Ferguson准教授を講師にお迎えし、国際学会での発表に不可欠なスキルを学びました。参加者は、研究の要点を明確に伝えるための構成や、アブストラクトの整理方法について実践的に学びました。参加者からは、「とてもわかりやすかった」「国際学会発表へのモチベーションが上がった」といった感想が寄せられました。



■今後の予定

- 【第2回】11月1日(土) 国際学会発表準備セミナー ~プレゼンテーション~

大学院生交流会

2025年5月10日(土)、今年度最初の「大学院生交流会」を開催しました。大学院生10名、大学院進学に関心のある学部生6名、教職員6名の計22名が参加しました。本交流会は、若手研究者の育成と大学院の活性化を目指し、当センターが昨年度から企画しているものです。今回はFD推進委員会との共催で、大学教員(ファカルティ)を目指す大学院生が主体となり、イベントの企画立案から当日の円滑なコミュニケーション促進まで担当しました。運営した大学院生からは「人前で話す練習になった。自信につながり、達成感も得られた」、参加者からは「悩んでいるのは私だけではないと気づけた。仲間ができたように感じた」といった声が聞かれました。また、進学を検討している学部生を対象に行ったアンケートでは、回答者全員が「とても参考になった」と回答し、交流会の目的が十分に達成されたことが示されました。



9月16日(火)には第2回の交流会を開催しました。今後も定期的に大学院生交流会を開催します。

KAKEN塾

若手研究者の科研費の応募件数、採択率向上を目指して、今年度で3回目となるKAKEN塾を、4月から6月にかけて開催しました。約20名の参加者は、講師からの説明に耳を傾け、サポーター(昨年度の受講者で科研費に採択された方)やアドバイザーから助言を受けたりしながら、研究計画調書の作成に取り組みました。

アンケートでは、「グループワークでは他分野の研究者の視点で客観的な意見交換ができた」、「サポーターの先生からの指摘は的をのべていてありがたい」、「他の先生も頑張っていることが分かりモチベーションアップに繋がった」など、好評を得ました。

昨年度は、KAKEN塾受講者のうち21名が応募し8名が採択されました(採択率38.1%)。今年度も結果が楽しみです。



ライフイベントと研究活動の両立支援

今年度も学内保育ルーム「ラビークラブ」の見学会や女性研究者の交流・情報交換を目的としたランチタイムミーティングを開催しています。また、学内での学童支援プログラム構築に向けて取り組んでいます。

開催報告

●第1回 ランチタイムミーティング「研究しながら小学生の子育て、どうしてる?」

2025年7月29日(火)に本学研究者を対象とした子育て交流会ランチタイムミーティングが開催されました。教授2名、准教授5名の計7名の研究者が参加し、アドバイザーとして教育学科の磯部美良教授と中村明美教授が加わり、合計9名でランチを食べながら親睦を深めました。

参加者は、「小1の壁」「小4の壁(9歳の壁)」「夏休み中の居場所」「子どもとのスキンシップ」といった具体的なテーマや、日頃の子育てに関する悩みなどについて活発に意見を交わしました。初対面の参加者もいましたが、90分間、話題が尽きず、参加者にとって、研究者として、また子育て中の親として、貴重な交流の機会となりました。

●Mキッズ☆1Dayサマープログラム

2025年8月9日(土)・10日(日)のオープンキャンパスにあわせ、教職員のお子さまを対象に、学童保育支援「Mキッズ☆1Dayサマープログラム」を開催し、小学1年生～3年生までの児童5名が参加しました。

女性研究者が子育てをしながら研究を継続しやすい環境を整備するため、本学独自の学童保育支援の実現に向け、ニーズ調査を兼ねたパイロット版として実施しました。

当日は、おやつ作りやお花紙のランプシェード作り、ぶどうジュースの色変化実験など、子どもたちの年齢や興味に合わせた多彩なプログラムを実施。保護者の働く職場を見学するキャンパスツアーも行い、充実した1日を過ごしました。



今後の予定

10月25日(土) ライフイベント・研究活動両立支援セミナー「今からできる!親と自分の介護の備え~ライフイベントでキャリアを中断しないために~」

今後の予定

- ◆英語スキルアップ研修 スピーキング編 ▶10月18日(土)・11月29日(土)
- ◆若手研究者のためのデータ分析法セミナー ▶12月20日(土)
- ◆第3回シンポジウム ▶2026年2月13日(金)

武庫川女子大学 女性研究リーダー育成推進センター

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46
TEL (0798)45-3506 FAX (0798)45-3686
E-mail cewl@mukogawa-u.ac.jp



事業紹介HP



武庫川女子大学
サイエンス・commons
HP



武庫川女子大学
サイエンス・commons
Instagram